

第6次総合計画の策定フロー

□第6次総合計画の目標

- ・ 市民が自分事としてまちづくりに主体的に関わるきっかけづくりとする
- ・ 市民のシビックプライド（まちに対する愛着や帰属意識）の醸成
- ・ 市職員のスタッフプライド（まちづくりの推進役としての自覚と責任感）の向上
- ・ 都市としてのブランド力（暮らす、働くまちとしての価値）を高め、市外からも注目を集めることにより、本市へのひとの流れを呼び込む好循環を誘導



□総合計画のコンセプト

- ・ 「知多市のポジション（広域から見た地域特性）」や「市民のペルソナ（市民の属性や生活、志向）」、「知多市の魅力資源（モノ、コト、ヒト、トコロ、レキシ等）」を再認識する
- ・ 将来予見される知多市及び周辺地域の変化、社会情勢が知多市に与える影響から期待される発展の機会を確実に取り込む



- ・ 知多市に住んでいるからこそ将来の実現を目指せる豊かな市民生活（市民が幸せになるストーリー）を描く

□策定における市民の関わり

コンセプトに掲げた「市民のペルソナ」の把握や「知多市の魅力資源」等の検討を行い、市民が幸せになるストーリーを描く。

なお、市民は当初の検討段階だけでなく、市の検討状況について共有し、意見・提案する機会を設けるとともに、策定後の自主的な活動の活性化に繋げていく。

○市民意識調査

- ・ 知多市民の属性や生活、志向を把握し、「市民のペルソナ」をイメージする
- ・ 市民の生活行動や志向等から「知多市のポジション」や「知多市の魅力資源」を見出す
- ・ 市民のシビックプライドや市民から見た本市のブランド力を把握する

○市民インタビュー

- ・ 知多市の魅力向上に寄与している市民主体の活動やその担い手を再認識するとともに、活動を後押しする仕組みを検討し、自分事としてまちづくりに関わっていくモデルを作っていく
- ・ インタビュー対象者のペルソナや活動から見出させる知多市の魅力資源を発掘する

○市民ワークショップ

- ・ 市民が幸せになるストーリーを市民自身が展望する
- ・ 知多市で幸せに暮らすために必要とされる施策を検討する

□職員プロジェクトチームによる検討

- ・ 「知多市のポジション」や「市民のペルソナ」、「知多市の魅力資源」を踏まえ、市民ワークショップ等の検討結果をもとに、知多市に住んでいるからこそ将来の実現を目指せる豊かな市民生活（市民が幸せになるストーリー）を言語化する
- ・ 市民が幸せになるストーリーをベースとして、知多市の発展の方向性（将来都市像）や戦略的な取り組み（重点戦略）を検討する

第6次総合計画の策定フロー図

